

## 国際課活動レポート

### ◆ブルネイ青少年交流団来県（11月29日～12月6日）

和歌山県が交流を続けるブルネイ・ダルサラーム国のヤヤサン高校より、青少年交流団が来県し、和歌山県をさまざまな側面から学ぶため、花王や新日鉄住金の工場見学、和歌山城や湯浅町伝建地区の散策、世界遺産ツアー、熊野高校では空手部との交流、みかん狩り体験、知事表敬などを行いました。夏には和歌山県からブルネイへの青少年団が派遣されます。ご興味のある方は、和歌山県国際課のホームページを確認してください。



### ◆大使観光フォーラム（2月8～9日）

アジアを中心とする20カ国の駐日大使・総領事を招いた観光フォーラムが、2月8日に白浜町で開催されました。このフォーラムは、和歌山県議会観光振興議員連盟が和歌山の魅力を海外の人々に広く知ってもらうために主催したもので、交流会では県議会議員などが和歌山の観光資源を紹介しました。その後のレセプションでは、和歌山の食材を使った料理が振る舞われ、マグロの解体ショーや獅子舞も披露されました。翌日は雪の高野山を訪れました。



### ◆ヨハネス・クヌッセン機関長慰霊献花の集い（2月10日）



60年前のこの日、デンマーク人のヨハネス・クヌッセン機関長が美浜町の海で海難救助中に命を落としました。毎年、機関長の命日には慰霊献花の集いが行われています。日本・デンマーク外交関係樹立150周年を迎える今年は、デンマーク王国のメテ・ボク文化大臣一行がこの集いに参列されました。また、デンマークのフレデリクスハウン高校の姉妹校である日高高校を訪れ、生徒たちと交流した際、ボク大臣は、「これからも姉妹校交流を通じて日本とデンマークの友情を深めていってほしい」と語りました。